

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 意思疎通支援担当者研修会に参加して

7月25日～27日の3日間、京都市聴覚言語障害センターで開催されました。全国の聴覚障害者情報提供施設から意思疎通支援にかかわる職員が47名参加し、講義を聴き、グループワーク等での意見交換を行いました。

講義のテーマは「ピア・スーパービジョンⅡ」「変わる私たちの現場 情報提供施設の役割とは」「社会資源とネットワーク」。昨年度に引き続き、ピア・グループ・スーパービジョン（仲間とともに学ぶことにより、各メンバーの成長を図ること）について学びました。問題点はすぐに出せますが、良いところを言うトレーニングは受けていないものです。良いところを伝え合うことで関係性は良くなっていくことを学びました。共感と支え合いが大切であるということが印象に残っています。同じ立場のコーディネーター同士、参加期間中は特にそれを意識して過ごしました。

社会資源とネットワークの講義の中では、日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会の稲淳子会長より、「ストレスは悪いものではなく、スパイシーな調味料のようなもの」という話がありました。確かに多すぎるスパイス（ストレス）は体に悪いが、それがあって味が引き締まり、風味を加えてくれます。なるほど～と納得させられました。

適度なストレスとうまく付き合い、仲間と支え合い励まし合おうと改めて感じた研修でした。
(清水 歩)

電話リレーサービス事業開始しました。まず登録して下さい！

9月4日から、北信越地区の聴覚障害者情報提供施設が担当する業務が始まりました。

富山県聴覚障害者センターは、火曜日と水曜日の午前9時～午後5時を担当します。木曜日～土曜日の3日間は、長野県聴覚障害者情報センターが担当します。

全国では、11聴覚障害者情報提供施設と3民間業者が業務を行っており、全体では午前8時～午後9時（年中無休）利用できます。利用するためには「日本財団電話リレーサービスモデルプロジェクト」のホームページで、利用者登録をする必要があります。

⇒ <https://trs-nippon.jp/> <新規利用者募集はこちらから>から入して下さい。
分からない人は、センターに来て下さい。スマホでもできます。

センター利用の実績 8月21日～9月20日

- 来所者合計約560名
聴障者約252名、健聴者約308名
- コミュニケーション支援コーディネート97件
- 電話リレーサービス 6日間38件
- ライブラリー貸出 2件5本
- 相談対応4件 ●部屋貸出52件

★センター運営募金・募集★

郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会